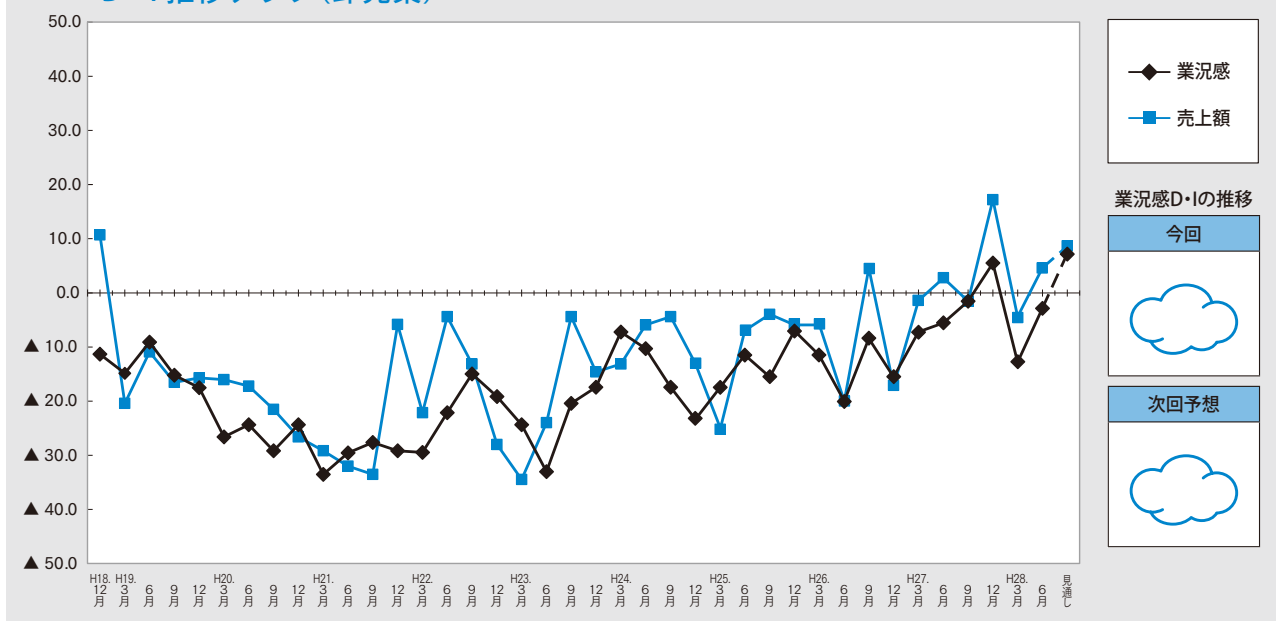


卸売業

Wholesale trade

業況感再び好転

D・I 推移グラフ (卸売業)



1 今期 (平成28年4 - 6月期)

卸売業の業況感は、今期▲2.9 (前期▲12.9)となり、前期比10ポイント上昇。前期は5期ぶりの悪化となったものの、今期再び改善した。

販売価格がやや低下しているものの、その他の項目については好調に推移しており、仕入価格も抑制が図られたことから売上高の上昇とあわせて収益も向上している。資金繰りはやや悪化。在庫や雇用については、不足が続いている。

2 来期の予想 (平成28年7 - 9月期)

来期も業況感の改善は続き、今期から10.1ポイント上昇し、7.2まで上昇する見込みとなっている。D I値プラスまで上昇するのは3期ぶりであり、実現すると調査開始以降最も高い水準まで上昇することとなる。

販売価格のみが今期に続き悪化するが、業況感以外の項目でも上昇は続く見込みである。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

| | H27.6月期 | H27.9月期 | H27.12月期 | H28.3月期 | H28.6月期 | 来期見込み |
|------|---------|---------|----------|---------|---------|--------|
| 業況感 | ▲ 5.7 | ▲ 1.4 | 5.7 | ▲ 12.9 | ▲ 2.9 | 7.2 |
| 売上額 | 2.9 | ▲ 1.4 | 17.1 | ▲ 4.3 | 4.3 | 8.6 |
| 収益 | ▲ 1.4 | ▲ 8.6 | 14.3 | ▲ 1.4 | 2.9 | 7.1 |
| 販売価格 | 14.3 | 5.1 | 2.9 | 7.1 | 2.9 | 0.0 |
| 仕入価格 | ▲ 31.4 | ▲ 12.9 | ▲ 4.3 | ▲ 17.1 | ▲ 4.3 | ▲ 2.9 |
| 在庫 | ▲ 14.3 | 8.6 | ▲ 2.9 | ▲ 5.7 | 4.3 | 5.7 |
| 資金繰り | ▲ 11.4 | ▲ 10.0 | ▲ 4.3 | ▲ 14.3 | ▲ 17.1 | ▲ 15.7 |
| 人手 | 8.6 | 8.6 | 11.6 | 8.6 | 14.3 | 18.6 |
| 設備状況 | 4.3 | 8.6 | 7.1 | 4.3 | 10.0 | 10.1 |

業況調査メモ

常に時代の変化を先取りしながらさまざまな分野で事業展開を図る総合商社。国内ベスト5は三菱商事、伊藤忠商事、丸紅、三井物産、住友商事だが、鹿児島県の南国殖産の事業領域も幅広い。同社の2020年を見据えた中期経営計画では、石油関連、建設資材、携帯販売などで安定収益を図り、再生可能エネルギー、都市再開発、モバイル・ICTを成長分野としてとらえて集中投資。規制緩和などを踏まえて新電力、アグリビジネス、不動産開発、リフォームを新規事業と位置づける。計画では「プロジェクトへの飽くなき挑戦と達成による全九州での地盤の確立」を基本目標に、単体で2500億円の売上高を目指す。